

# みはま支援学校

実施日時	令和3年 12月 15日（水） 9：00～14：30
参加者	生徒40名、教職員20名 計60名
実施内容	起震車による地震体験、きいちゃんの災害避難ゲーム①「津波から逃げ切ろう！」②「みんなで協力して避難所運営しよう!」、災害用伝言ダイヤルの実施

## ねらい

- 1 地震をはじめ自然災害に備え、防災意識を高める。
- 2 災害にあったときにとる行動及び自分で判断できる力を高める。

## 主なプログラム

- 1 防災スクールの説明
- 2 起震車による地震体験
- 3 きいちゃんの災害避難ゲーム（2種）
  - ① 津波から逃げ切ろう！
  - ② みんなで協力して避難所運営をしよう！
- 4 災害用伝言ダイヤルの実施

## 概要

- 1 本日の学習内容を確認。



- 2 起震車に乗り、地震の揺れを体験する。震度による揺れの大きさの違いや、地震時の室内の状況などの映像を合わせ

て見ることで、地震の影響を体感する。



- 3 ①グループに分かれ、きいちゃんの災害避難ゲーム「津波から逃げ切ろう！」のボードゲームを実施。南海トラフ地震発生を想定し、自宅から避難場所まで津波に追いつかれずに逃げ切ることができるのか、事前準備の大切さをグループでの討論を交えながら取り組む。



- ② グループに分かれ、きいちゃんの災害避難ゲーム「みんなで協力して避難所運営しよう!」のボードゲームを実施。避難所運営本部の担当班長になる設定で、時系列で発生する避難所内外の課題やトラブルに迅速に対応する。



- 4 各クラスにて災害用伝言サービスを実施。電話を使った伝言の録音・再生の実施と、インターネットを使った伝言（文字）を登録して閲覧する方法に取り組む。

### 参加者感想文

- きいちゃんの災害避難ゲームを通して、災害が起こる前の事前準備の大切さを感じた。
- 避難所運営ゲームでは、いろいろな問題の多さに驚いた。また、みんなで話し合いながら、迅速にクリアしていく必要性を感じた。

### 成果と課題

#### 【成果】

- 本校生徒の実態に合わせ、ゲーム感覚で取り組める「きいちゃんの災害避難ゲーム」に取り組んだ。迫り来る津波を感じ、津波から逃れるためにはどうすれば良いかなど、各グループで試行錯誤しながら進めることができた。事前準備のない状態でゲームを進めた場合、津波に巻き込まれる可能性が高いことが分かり、災害に備えて事前に準備しておくことの必要性をゲームを通して体感することができた。

- 災害が起こった場合、避難所での生活が余儀なくされる。いろいろな実情の人がいる中で、率先して避難所運営に携われる人材の育成が求められる。ゲームを通して避難所を運営する側の役割を体験した。避難所内外の課題が押し寄せる中で、運営側の役割の重要性を知ることや、迅速に、かつ的確に対応することの必要性を、ゲームを通して実感することができた。また、災害時に起こり得る様々なケースについて知り、討論を通して考えを深めることができた。

#### 【課題】

- 地震・津波災害は、今後近いうちに起こると想定されており、いつどこで遭遇するかもしれない、という危機感を日頃から持って過ごすことが大切である。定期的に防災についての学びや避難訓練などを設定し、繰り返し取り組んでいく。
- 無事避難できたことを想定し、その後避難所で生活するために必要な物事について考える機会を設定していく。また、身近な物を使って生活に必要な物の代用品を作ったりするなど、知っておくと役立つ知識を活用した体験活動なども設定していきたい。